

JEAS News

vol. **40**

2024 春号

セキュリティショー 2024&新会員紹介特集

ロス対策・パラダイムシフト*つながる心が生む新世界～協働防犯～

☆なるほど!万引防
止・ロス対策情報は
JEAS Facebook



☆月2回定期配信
ロス対策メールマガ
ジン



～防犯民主主義実現に向けて～

EAS機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会



Think Globally, Act Locally
…一隅を照らすは、これ則ち世界の宝なり…

認定個人情報保護団体

工業会 日本万引防止システム協会

JEAS News

第40号

目 次

EAS、カメラ分野を担当する工業会として	表紙裏
あいさつ 工業会日本万引防止システム協会 会長 稲本 義範	3
あいさつ 経済産業省 商務・情報政策局 情報産業課課長補佐 籠 寛之様	4
2023年ロス対策・万引防止の実態調査報告書の発出	5
新理事紹介 (株)GeoVision 副社長 周 采穎 (Joy Chou) 様	6
新正会員紹介 日本アクア開発 (株) Dahua Technology Japan 合同会社 三和コンピュータ (株)	6
新賛助会員紹介 (株)UACJ	7
新特別会員紹介 一般社団法人ソフトウェア協会 (SAJ)	8
シリーズ「変化・変容の時代に世のお役に立つ」(3)	8
講習会やセミナー実績	9
15分勉強会	12
学び AI や IoT 等への自己研鑽 ～ AI 時代への学び事例 ～	12
ロス対策士情報と J E A S 報奨制度について	13
工業会 日本万引防止システム協会のご案内	14
事務局長編集後記	14
工業会 日本万引防止システム協会 役職一覧・組織図	15
工業会 日本万引防止システム協会 会員名簿一覧 ご相談窓口について	裏表紙

EAS、カメラ分野を担当する工業会として

中小企業等経営強化法の経営力向上設備等及び生産性向上特別措置法の先端設備等に係る生産性向上要件証明
[分野：電子商品監視機器 (EAS)、防犯カメラ] に関するお知らせ

- (1) 2017年度税制改正により、中小・小規模事業者の「攻めの投資」を後押しするため、従来の産業競争力強化法に基づく「中小企業投資促進税制の上乗せ措置」を改組し、中小企業等経営強化法に基づく「中小企業経営強化税制」が創設されました。
- (2) また、中小企業等経営強化法に基づく「固定資産税の特例措置 (地方税)」においても、対象設備細目が2017年4月1日から拡充されました。
- (3) 当協会としては、ユーザー様及び会員の要望に応えるため、さらには「攻めの防犯」と「防犯民主主義」※を推進するために、2018年1月25日の理事会承認を経て2018年2月1日より本証明書の発行受付をスタートしました。

※「攻めの防犯」と「防犯民主主義」の説明 <http://www.jeas.gr.jp/pdf/20180307.pdf>

- (4) なお、中小企業経営強化税制につきましては、2025年3月末日まで延長されています。

詳しくは工業会ページをご参照ください。 <http://www.jeas.gr.jp/intro08.html>



JEAS Facebook も絶賛公開中！

<https://www.facebook.com/JEAS.JAP>



このたびの北陸・能登地域を中心とする大規模地震により犠牲となられた方々に心よりお悔み申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地域の日も早い復旧と復興を衷心よりお祈り申し上げます。その災害支援のため海保機に搭乗され亡くなられた方々に哀悼の誠を捧げます。

お蔭さまで、平成14年設立の JEAS は、平成30年には、経済産業省より EAS と防犯カメラ分野の工業会認定を受け、令和2年には個人情報保護委員会認定の認定個人情報保護団体となり、万引防止システム関連に従事するあらゆる企業が参画する総会員数62法人の産業団体に成長しております。

最近の万引犯罪の状況ですが、20年連続で減少してきた全国の刑法犯認知件数が増加に転じております。万引の認知件数も高止まりが続いております。スーパーマーケットなどの店舗ではセルフレジ普及などの影響もあって、ロス率が悪化に転じている店舗様から相談をお受けすることが多くなっています。首都圏には万引による被害額が昨年の4倍に跳ね上がっている地域もあります。昨年9月頃からは、4人組の窃盗団が北関東等のドラッグストアから医薬品や化粧品を集団窃盗する事案が起こっています。確認されているだけで40件に及ぶ犯行に被害額が2千万円に及んでおり、各県警本部が連携して捜査をされています。

このような状況の中で、‘昨年は‘協働防犯’を合言葉に、現場力向上のためのセミナーを積極的に開催しました。5月に「世界のサイバー攻撃の現状とトレーニングの重要性セミナー」、5月サーマルカメラ等に保存されている個人情報（顔画像）漏洩に関する注意喚起、6月に推薦製品制度をスタート、通常総会記念講演会での移動型セルフレジのロス改善事例の紹介、7月にセキュリティショー2023大阪第1回開催に初参加、セルフレジ不正防止のための冊子の発出、8月から11月は、「セルフレジ不正対策セミナー」を各地で開催、10月には個人情報保護委員会より講師をお招きし「犯罪予防や安全確保のための顔識別機能付きカメラシステムセミナー」を開催、11月には、総務省総合通信基盤局電波部電波環境課よりご挨拶をいただき「技術セミナー中間周波に係る疫学調査及びばく露量モニタリング調査報告」を開催、さらに個人情報保護委員会事務局にご臨席いただき「第3回科学保安講習会」を開催、12月には経済産業省商務情報政策局情報技術利用促進課にご挨拶をいただき「AIカメラ等利活用の人材育成と最新・個情法パンフ活用セミナー」を開催、などを通じ、ロス対策・防犯関係者など多くの皆様に学びの場をご提供しました。

それ以外にも、理事会毎に勉強会を開催しております。また会員間や関係者とのビジネスマッチングも積極的に実施し、新たなソリューションやビジネスにつながっています。さらにその動きをAI分野にもでも加速化するために、ITパスポート、IoTシステム技術検定、G検定、リテールAI検定、防災士、セキュリティ関係の資格などの受験を各社にお願いしております。3年目となる全国万引犯罪防止機構のロス対策士検定制度に関しては、当工業会メンバーにとっても必須のセミナーであるため、支援制度を用意し受験者拡大を推進しております。

さて、遺憾なことに、いま世界各地では戦争や分断が広がっており、国内犯罪傾向も悪化が顕著になってきています。その原因の一つとして当事者間の対話への努力の欠如が挙げられると思います。これらを鑑み令和6年も、‘協働防犯’を合言葉に、関係者間の対話や現場重視の視点を大切にしていきたいと思います。Think Globally, Act Locally（超訳：一隅を照らすは、これ則ち世界の宝なり）という姿勢で、世界や現場を結んだ有益情報を JEAS の公式ロス対策メルマガ、フェイスブック、X、JEAS セミナーなので、より多くの皆様に発信していきたいと思います。

具体的には、3月14日 SECURITY SHOW 2024 JEAS ステージ「ロス対策&販促アップ！ディスカウントやドラッグストアの凄技」にて、ディスカウント店のロス対策やフレジ不正対策を（株）パン・パシフィックシェアードサービスリスクマネジメント本部 危機管理部 部長 後藤信明様より、万引防止機を使った広告例を（株）ロケット



工業会 JEAS 事務所

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-1
YOTSUYA TOWER 7F

代表取締役社長 林潤一氏より、司会は当工業会の保安業務技術長である（株）JSS 執行役員東京統括部長 林俊一氏が担当します。会場ブースでは各社の製品・サービスの紹介をしており、説明員が皆様のご来場をお待ちしております。それ以降の予定としましては、4月業界の市場規模市場調査の実施、5月専門機関による経済安全保障とサイバー攻撃対策セミナー、6月7日の通常総会・記念講演会では「私だってできるロス分析方法（仮題）」という演題で、ミネ医薬品（株） 常務取締役 富澤勇様の登壇、さらには「塀の中のおばさん」著者である読売新聞社 編集委員 猪熊律子様に登壇をお願いしました。7月EAS機器の基礎知識を学ぶ第8回JEAS講習会、9月第4回推奨顔認証システム認定審査会、11月第4回科学保安講習会などが予定されております。さらに海外や各地の団体との具体的な交流を活発化させなければと感じております。

JEASは、防犯民主主義実現の旗の下、EAS機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会として、「万引犯罪をさせない店舗作り」の推進を通じて、流通業界の健全な経営、また青少年の非行防止や高齢者等の再犯防止という産業的、社会的役割を果たすべく活動して参ります。

あいさつ

経済産業省 商務・情報政策局 情報産業課課長補佐 籠 寛之様

冒頭、本年1月1日に発生しました令和6年能登半島地震において亡くなられた方々に心からご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災されたすべての方々にお見舞いを申し上げます。

政府一丸となって、「人命第一」で、救命・救助活動に全力を尽くします。経済産業省も、総力を挙げ、関係省庁と連携して事態にあたります。産業界をはじめとする国民の皆様にも、引き続き御協力いただけますようよろしくお願いします。

工業会日本万引防止システム協会（略称 JEAS）が、カメラと万引防止機器の工業会として、ロス・プリベンションを推進する産業団体として成長されてきていることは大変喜ばしいことであると同時に、現代的な社会経済問題の解決に関わる産業として必然的な流れであると拝察しております。

これまでの JEAS の活動をふり返ると、コロナ禍中の2020年6月に推奨顔認証システム認定試験の開始、同年7月に体表温度測定のリモートカメラの安全利用のガイドラインの発表、同年10月には保安警備員育成のための科学保安講習会を立ち上げられるなど、機器の安全利用をハード面とソフト面から強力に推進されてこられました。その成果が実り、会員数がコロナ以前のなんと2倍になったとお聞きしました。さらにいま IT、AI、IoT、サイバー対策、作業安全の推進など多方面にわたって、産業発展に向け業界を牽引されていることを心強く思っております。

令和6年を迎え、現在、世界は時代の転換点を迎えています。コロナ禍は収束に向かいつつありますが、ロシアによるウクライナ侵略継続や中東での紛争等、日本を取り巻く状況は依然厳しい状態にあります。また、国内では少子高齢化・人口減少等の課題も存在し、これらの対応も求められています。

こうした逆境下は、日本が自己変革に挑戦し、成長する好機でもあります。昨年の国内投資見通しは過去最高を更新しました。政府の大胆な支援によって、民間の投資を呼び込み、イノベーションによって生産性を上げ、所得を向上させる。これらの実現を目指して取り組みを進めてまいります。

このような攻めの国内投資の代表例がデジタル分野であると考えられます。

生成AIの急速な進化・活用に代表されるように社会のデジタル化は必至であり、その重要性は増す一方です。AIを巡る環境変化の中で、国内の開発力強化とAIが抱えるリスクへの対応を両輪で進めるとともに、生成AI時代に必要となる人材育成も強化します。昨年は、将来の次世代半導体量産拠点への継続的かつ強力な支援に代表される日本の半導体政策が世界から注目を集め、期待感が高まる年となりました。デジタル社会、ひいては日本の産業全ての基盤となる半導体について、本年も積極的な政策を展開していきます。

AI・半導体と同様に、経済安全保障確保の観点からも重要な蓄電池やサイバーセキュリティ等の産業基盤の強化にも引き続き全力で取り組みます。また、デジタルの恩恵を全国に行き渡らせるべく、共通規格に準拠したデジタル時代の社会インフラであるデジタルライフラインの全国的な整備を進めます。

本年もデジタル社会の実現に向けた政策を全力で実行していきます。

GXの実現も重要であり、今後より一層の取組強化が必要になると考えられます。化石燃料からの移行を進めていく脱炭素は世界的な流れであります。この流れを踏まえつつ、国内産業界にも変革を迫る圧力は年々高まっており、エネルギーの安定供給や排出削減等を実現する取組みが求められています。日本では、昨年5月に「GX推進法」やGX脱炭素電源法」を成立させ、7月にGX推進戦略を策定しました。GX実現に向けた取組を政府としても後押ししていきます。

経済産業省としては、これまでに述べたような様々な施策を講じることで産業界の皆様と連携しながら、我が国の成長のために力を尽くしていく所存です。

昨今の流通業の現場では、セルフレジ利用拡大のように来店者へのサービス向上や作業の効率化に加え、後を絶たない大量盗難対策のために、さまざまな商業施設でカメラ画像のAI利用が進んでいるとお聞きしております。商業利用や防犯利用を進めていく上で、いまやAIの技術開発は不可欠のものになっていると感じますが、それらの継続的な普及を図るには、システム販売者側も運用面のリスク対応や来店者への説明を行っていくことが必須となっております。簡単なことではないでしょうが、それに日々対応していくことで、より強固なシステムが構築されるはずです。

万引対策という難しいビジネスの中で磨いてこられた高い精神性と技術力が、AI利用の中で、さらに大きく開花されることを祈念しております。今後とも良いシステムを生み出し、世界から注目される業界に育っていただくことを期待しております。

最後に、皆様の益々の御健勝と御発展を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

「2023年ロス対策・万引防止の実態調査報告書」の発出

2023年ロス対策・万引防止の実態調査報告書を会員と協力団体限定で発出します。資料は会員ページのb_30に格納されています。10年前の同調査は会員ページのb_1、b_4にあります。比較されると新たな課題や技術進歩が確認できます。

工業会日本万引防止システム協会では、2012年度から2013年度にかけて実施しました「ロス対策・万引防止の実態調査」について、各商業団体事務局様と会員企業様の御協力をいただき、本年度、中立機関の日本能率協会総合研究所にて再度実施しました。この個別インタビューにて聞き取りによる詳細な調査結果をもとに、より深い理解と改善策の推進につながれば幸甚に存じます。

工業会日本万引防止システム協会 政策・研究委員会では、ハード対策及びソフト対策の相乗効果で、お店様の利益向上、お客様及び皆様の更なる安全・安心の確保に向け、最善の努力をしていく所存でございます。引き続きの御協力をお願いします。

なお、本調査内容は会員の共有資産であるため、前回調査もそうでしたが、会員及び御協力いただいた商業団体様の限定資料となります。調査報告書は会員ページのb_30に格納されております。

敬具

2023年12月25日 政策・研究委員会 委員長 摺田 祐司



新理事紹介

株式会社 GeoVision 副社長 周 采穎 (Joy Chou) 様



この度、理事に就任いたしました GeoVision の周です。

GeoVision は台湾に本社を置き、監視カメラの管理ソフトウェアの開発・販売をやってきました。AI 技術の進化に伴って、顔認証システムや AI 画像解析ソリューションの開発にも注力してきています。画像は防犯用途から業務効率化などへの運用に広がります。

弊社の「JVS-GOFR」も JEAS 推奨顔認証システム制度の認定試験に合格しています。

技術進化の一方、個人情報保護など様々の課題も出てきてます。JEAS に参加することで沢山の業界の方々と情報収集・交流ができ、より良い商品・サービスへの提供に勉強ができて充実です。

宜しくお願い致します。

株式会社 GeoVision <https://geovision.co.jp>

業界で活躍する女性 (8) 2019.2.12

<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20190221.pdf>

JEAS 推奨顔認証システム一覧 / JEAS 画像安全利活用 * 科学保安全国 MAP2023年版

<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20231205.pdf>

※理事 1 名の退任にともない新たな理事として2023年12月 8 日 (金) 理事会で承認されました。正式には2024 年 6 月 7 日 (金) に開催する令和 6 年度 JEAS 通常総会で選出されます。

新正会員紹介



日本アクア開発株式会社

代表取締役 豊島 雄介

日本アクア開発株式会社は、監視カメラを中心としたセキュリティ事業を行っております。1990年より工事の「アクア」として35年以上、50万件以上の監視カメラ工事のご依頼を受注させていただき、カメラ数百台に及ぶ大型商業施設工事、数百店舗に渡る多店舗短期間の工事など、民間や公共、あらゆる業種・施設の施工を実施してまいりました。



この豊富な工事実績をベースに、北海道から沖縄まで確かな施工技術を持ったネットワーク網を構築し、よい仲間を集め、育て、共に成長しながら、高い技術力と機動力を持った技術者集団として全国どこでもスピーディーに安心・安全な施工をお届けしています。

セキュリティへの関心は年々増えていくと共に、技術やソリューションも日々進化しています。当初、工事のみでしたが今ではセキュリティシステムの企画・提案から販売・施工・メンテナンスに至るまで、一貫したサービスをご提供することでお客様のニーズに対して細かなところまでフォローさせていただきます。

私たちは、セキュリティ機器を通して安心して暮らせる社会を築くと共に、さらに新しい価値を提案、推進しながら笑顔あふれる社会を創造する企業でありたいと考えています。



Dahua Technology Japan 合同会社

代表取締役社長 李 斌様

Dahua Technology（ダーファ・テクノロジー）はビデオを中心とするIoTソリューションプロバイダーです。主力商品はカメラ、レコーダー、インターホン、ディスプレイ、ソフトウェアなど、交通、製造、教育、エネルギー、金融、環境保護など幅広い領域においてサービスの提供実績があります。

Dahua Technology は「社会をより安全に、暮らしをよりスマートに」の企業理念のもと、お客様のニーズに応え続け、アジア太平洋、北米、南米、ヨーロッパ、アフリカなどの各地に57の拠点を設置し、180の国と地域に製品やサービスを提供してまいりました。北京冬季五輪、リオ五輪やG20杭州サミットなどの国際的な催しだけでなく、交通、製造、教育、エネルギー、金融、環境保護など幅広い領域において、世界中のお客様に迅速かつ良質なサービス提供を心がけています。

Dahua Technology Japan は2020年に東京でオフィスを設立しました。人手不足をはじめとする様々な社会問題に立ち向かい、日本の皆様により安心安全な環境を、弊社のソリューションやサービスに通じてご提供できるよう努力してまいります。



三和コンピュータ株式会社

取締役 執行役員社長 本永 実

三和コンピュータ株式会社は1971年に設立し、50年以上にわたりICTトータルソリューションの提供を行ってまいりました。

1994年に立ち上げたフィジカルセキュリティ事業においては、監視カメラを主体として赤外線センサーや非常警報、入退室など多彩な機器との連動を可能にする総合映像監視システムや、セキュリティレベルに合わせたICカードや生体認証を用いた入退室管理ソリューションなど、官民間問わず様々な業界に導入させていただき、2,000社以上の導入実績がございます。

三和コンピュータでは特定のメーカーや製品にとらわれず、お客様に最適なソリューションをご提案いたします。<https://www.sanwa-comp.co.jp/solution/p-security.html>

※ I Guard S は三和コンピュータが特許を取得しています。特許番号：特許第6559759号



新賛助会員紹介



株式会社UACJ 経営戦略本部

新領域開発部長 岩村 信吾

株式会社UACJは、グローバルに事業を展開する日本発のアルミニウム総合メーカーです。2013年に古河スカイ株式会社と住友軽金属工業株式会社といういずれも国内屈指の歴史と実績をもつアルミメーカー2社の経営統合により誕生しました。現在、アルミ圧延品の生産量は年間130万トンを超え、国内でトップ、世界でも第3位の規模です（2022年度アルミ板生産量）。



UACJグループは、板、自動車部品、押出、箔、鋳鍛、金属加工の6つの事業を持ち、飲料缶、自動車、IT機器、空調、航空宇宙産業などの幅広い分野にアルミ素材を供給し、人びとの暮らしや産業を支えています。

す。国内で随一、そして世界でも数少ない「アルミニウム総合メーカー」として、グループの総合力を結集するとともに、125年にわたり受け継いできた技術、グローバル供給体制などを生かし、グループ理念に掲げる「素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現」を目指していきます。

新特別会員紹介



一般社団法人ソフトウェア協会（SAJ） 会長 田中 邦裕

一般社団法人ソフトウェア協会（SAJ）は、ソフトウェア製品に係わる企業が集まり、ソフトウェア産業の発展に係わる事業を通じて、我が国産業の健全な発展と国民生活の向上に寄与することを目的としています。

第四次産業革命によりあらゆるモノにソフトウェアが使われる時代になり、デジタル化によってソフトウェアの重要性がますます増してきています。SAJは『Software Everywhere ～すべてはソフトウェアで動く、これからのデジタル社会へ～』をテーマに、すべてのソフトウェアを対象とし、デジタル社会を推進するために、「ソフトウェア（国）の未来を創る」をビジョンに見据え、ソフトウェアに関わるすべての組織（チーム）・人をサポートすることをミッションとして活動してまいります。



<https://www.saj.or.jp/index.html>

シリーズ「変化・変容の時代に世のお役に立つ」(3)

同志で学び合う JEAS プロジェクト

株式会社 JSS 執行役員 第一保安警備事業部 部長 林 俊一

JEAS 科学保安講習プロジェクト WG 長及び JEAS 推奨顔認証システム制度技術長

● JSS 基本方針

当社は各種警備業務のプロフェッショナルとして事件・事故の進化速度を上回る知識・技術の構築を目指しています。そのために従業員に対する最新技術・知識に基づいた徹底した教育を行うとともに、警備関係・関連した資格を積極的に取得させることを当社の基本方針の中で明言してきました。

● 保安警備の状況

私は当社において20年にわたり保安警備業務を担当していますが、この20年の間に官民一体の努力により万引を始めとする刑法犯の認知件数は大きく減少しています。

しかし個々の小売店においてはその取り扱う商品の魅力ゆえに転売を目的とした窃盗犯による被害に苦しめられている現実が今尚存在しています。

被害への対策をクライアントと一緒に考えていく中で新しい技術の活用が求められるようになってきましたが、親交のあった株式会社三宅の三宅社長より JEAS を御紹介頂き「絶対役に立つから」と断言されて加入した結果、EAS や顔識別機能付きカメラを始めとする様々なシステムを作るメーカーやそれを取り扱う商社、保安警備の専門会社等、多くの会員企業様と交流することが出来ました。

● 警備会社が参加する JEAS プロジェクト

JEAS の講習会を通してイノベーションには「発明」と「業務に対する深い理解」の両方が必要だと学びましたが、稲本会長が提唱する「協働防犯」のスローガンのもと、JEAS に集う国内外のメーカーが持つ AI 等の新技術と、保安警備会社がこれまで培った万引犯罪に対する知見をそれぞれに吸収しながら、イノベーションを目指してそれぞれの本業に活かす光景には大変驚かされました。

特に広域で特定商品を狙うような窃盗団対策として有効な顔識別機能付きカメラについて、現場が感じていた個人情報の運用や IT ツール操作に対する不安という課題を解決するために加盟各社で作上げた推奨顔認証システム制度は、現場で安心して使用できるシステムの普及に貢献しているものと感じています。

● 学びの効果

当社では推奨顔認証システム制度や科学保安講習などの当社が参加した JEAS プロジェクトで得られた知識や経験の他にも、全国万引犯罪防止機構のロス対策士資格を積極的に取得するなど、保安警備業務のプロ

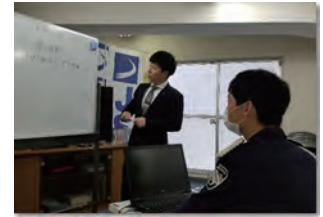
フェッショナルとしてのサービス構築を進めています。

警備業務の国家資格である警備員検定や各種消防資格に加えて、ロス対策の専門知識・技術を身に着けた警備員は事件・事故の進化速度に隠することなく自信を持って保安警備サービスを提供させて頂いています。その結果に喜んで頂いたクライアントからは再度の御発注を頂くだけでなく、万引被害に苦しんでいる他の小売店様へ当社を御紹介頂けることも増えてきました。

●これからの課題

昨年末にはこれまで下がり続けていた万引認知件数が前年同期比を上回るなど新たな局面を迎えようとしています。JEASは新たに顕在化したセルフレジ不正に対する対策の検討や、地域防犯を可能にするクラウドサービス「EMLINX」を第一号とする推薦製品制度を立ち上げるなど進化を続けています。

当社も現場の最前線で万引犯罪と対峙する際に JEAS を通して得たスキルを活用するだけでなく、最前線で得られた窃盗団を始めとする万引犯罪についての新たな知見を加盟各社や地域社会にフィードバックできる魅力的な人材を育成して参ります。



<https://www.j-ss.jp/>

JEAS 認定の先端警備「科学保安員」パンフレット2023年版

<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20230320-2.pdf>

JEAS「推薦製品」認定制度パンフレット2023年版

<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20230202-2.pdf>

JEAS セルフレジ不正防止のための冊子2023年版（一部非公開）

<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20230727-1.pdf>

講習会やセミナー実績

① 犯罪予防や安全確保のための顔識別機能付きカメラシステムの利用セミナー

10月11日（水）JEAS 特別セミナー「犯罪予防や安全確保のための顔識別機能付きカメラシステムの利用」を書店会館3階とオンラインで開催し、当日は46名（会場20名、オンライン26名）にご参加をいただいた。さらにアーカイブ動画では70名を超える方々に視聴いただきました。

本セミナーの目的は、小売業様の現場で導入が進む顔認証システム（顔識別機能付きカメラ）の利用促進に向けた法令面の説明になり、企業間を超えた防犯情報の共有などの協働防犯の推進を願って企画したもので、読者の皆様にごらんいただきたく講演動画の視聴用アドレスと資料をご案内します。

期間限定の講演動画（限定公開）のアドレス <https://youtu.be/a0fHDylwbuA>

講演印刷資料：※パスワードは jeas <https://www.jeas.gr.jp/20231011.zip>

講師：「犯罪予防や安全確保のための顔識別機能付きカメラシステムの利用について」の概要

顔識別機能付きカメラシステムは、顔認識技術を用いて、顔の形状や特徴を認識し、特定の人物を特定するためのシステムです。本セミナーでは、このシステムの仕組みや、導入時の注意点、そして最新の法令動向について詳しく説明いたします。

講師：「犯罪予防や安全確保のための顔識別機能付きカメラシステムの法的な側面について」の概要

顔識別機能付きカメラシステムの導入には、個人情報保護法や顔画像の取り扱いに関する法令が関係します。本セミナーでは、これらの法令の概要や、導入時の注意点について詳しく説明いたします。

講師：「犯罪予防や安全確保のための顔識別機能付きカメラシステムの導入事例について」の概要

本セミナーでは、実際に顔識別機能付きカメラシステムを導入している企業の事例について詳しく説明いたします。

「顔識別機能付きカメラシステム」の仕組み

1. 顔画像の取得：カメラが顔画像を取得し、サーバーに送信する。

2. 顔画像の認識：サーバーが顔画像を認識し、データベースと照合する。

3. 顔画像の登録：データベースに顔画像を登録する。

4. 顔画像の検索：データベースから顔画像を検索する。

5. 顔画像の削除：データベースから顔画像を削除する。

顔識別機能付きカメラシステムの導入事例について

1. 導入の目的：犯罪予防や安全確保のための顔識別機能付きカメラシステムの導入。

2. 導入の場所：店舗の入り口や出口、駐車場の入り口など。

3. 導入の時期：2023年10月11日（水）。

4. 導入の人数：46名（会場20名、オンライン26名）。

顔識別機能付きカメラシステムの導入事例について

1. 導入の目的：犯罪予防や安全確保のための顔識別機能付きカメラシステムの導入。

2. 導入の場所：店舗の入り口や出口、駐車場の入り口など。

3. 導入の時期：2023年10月11日（水）。

4. 導入の人数：46名（会場20名、オンライン26名）。

9

※調査書の65頁と66頁 https://www.ppc.go.jp/files/pdf/kaoshikibetsu_camera_system.pdf

セミナー参加のアンケートにあったコメントには「木村様、星様の説明が大変わかりやすく勉強になりました。透明性の確保が顔識別機能付きカメラシステムにとってなぜ重要なのか。お二方の説明を聞いて腑に落ちました（個人情報は社会にとって必要なものだから保護して適切に管理する必要がある）。」とありました。この気づきは私たちに大きな学びとなりました。

② JEAS 技術基準委員会セミナー

11月8日（水）15時～17時 技術基準委員会セミナーを高千穂交易セミナールーム（新宿区四谷）にて開催し、40名近くの皆様にご参加いただきました。

1. ご講演内容 総務省生体電磁環境研究『中間周波に係る疫学調査及びばく露量モニタリング調査』の結果について

2. 来賓あいさつ講師：

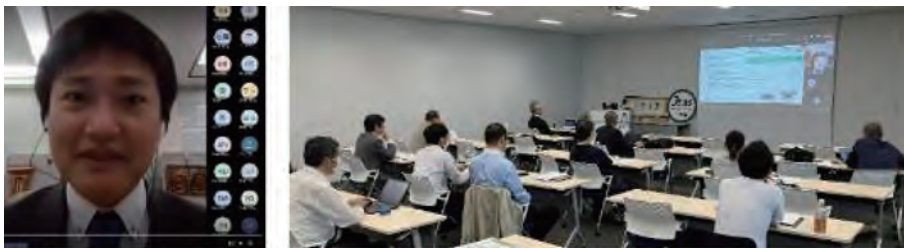
来賓あいさつ 総務省 総合通信基盤局 電波部電波環境課 課長補佐 藤原 史隆様
東京都立大学 名誉教授 多氣 昌生先生
静岡社会健康医学大学院大学 教授 小島原 典子先生

3. 日時・会場

日時 2023年11月8日（水）15：00～17：00

参加 高千穂交易セミナールームとオンライン方式にて

総務省主体で平成29年度から令和3年度までの5年間に3つの研究機関にて実施された「中間周波に係る疫学調査及びばく露量モニタリング調査」を通して、日常生活環境における中間周波電磁界の実態を把握し、健康リスク評価を確認しました。なお当工業会はEAS機器の貸し出しなどでご協力をさせていただきました。



総務省 総合通信基盤局電波部電波環境課 課長補佐 藤原 史隆様と会場の様子



【関係資料】

生体電磁環境に関する研究戦略検討会第一次報告書

https://www.soumu.go.jp//main_content/000557406.pdf

令和2年度研究報告書

https://www.tele.soumu.go.jp/resource/j/ele/body/report/pdf/r2_02.pdf

令和3年度研究報告書

https://www.tele.soumu.go.jp/resource/j/ele/body/report/pdf/r3_01.pdf

このセミナーは国内のEAS販売業者のほとんどに参加してもらった。技術的に油断できないことがあったので、みな全集中で学んでいただきました。2011年の311大災害を通して、「科学技術に絶対の安全は無し」ということを学びました。科学技術に絶対が無いからこそ、このような日々の安全活動を工業会の一丁目一番地事業として継続したいと思います。

③ 第3回科学保安講習会

11月16日（木）第3回科学保安講習会を四谷会場とオンラインにて開催させていただいた。今回はセルフレジ不正対策などが新たに加わり、さらに現場で役立つ講習会となりました。

これまでに56名の科学保安員を輩出した。そのうちロス対策士の資格を保持している者が18名います。

今回の講習会参加者のコメントに「セルフレジでロスは増えると思いますが、その事だけに囚われることなく、従来のロス対策を継続し続けなければならないという近江様のご意見に感動を受けました。有難うございました。」このコメントを含め、セミナーの結果報告は講師や担当委員会と共有しました。この講習会も参加者と講師側がともに学び合う場として継続したいと思います。



「第3回科学保安講習会」スケジュール

時間	内容	所要時間
12:30	会場到着・受付開始・Teams 受付開始	
12:55	集合時間・開会式	
13:00～13:05	主催者挨拶	(5分)
13:05～13:10	個人情報保護委員会事務局 企画官 大星 光弘 様	(5分)
13:10～13:15	2023年度科学保安システム制度・全体説明	(5分)
13:20～14:00	01 認証を伴った本人認証 (40分)	
14:00～14:10	02 顔認証 (10分)	
14:10～14:20	03 ロールリー・顔認証 (10分)	
14:20～14:30	04 ソニックセンサー (10分)	
14:30～14:40	05 オプションセンサー (10分)	
14:40～15:00	06 アルネットワークス顔認証 (20分)	
15:00～15:10	07 休憩 (10分)	
15:20～15:30	08 顔認証 (10分)	
15:30～15:40	09 顔認証 (10分)	
15:40～15:50	10 顔認証 (10分)	
15:50～16:00	11 顔認証 (10分)	
16:00～16:10	12 顔認証 (10分)	
16:10～16:20	13 顔認証 (10分)	
16:20～16:30	14 顔認証 (10分)	
16:30～16:40	15 顔認証 (10分)	
16:40～16:50	16 顔認証 (10分)	
16:50～17:00	17 顔認証 (10分)	
17:00～17:10	18 顔認証 (10分)	

④ JEAS 緊急セミナー

12月20日（水）緊急セミナー「AIカメラ等利活用に向けての人材育成と“カメラと個人情報保護法”パンフ活用」が開催され、50名ちかくの皆様に参加いただきました。最初に JEAS「推薦製品」No.004に選ばれた Casley Deep Innovations（株）の ASCA/不審者検知 with SAFR の認定証授与式が行われ、次に来賓挨拶として経済産業省 商務情報政策局情報技術利用促進課（IT イノベーション課）総括係長 森野智子様より「次世代の情報処理基盤の構築に向けて～ AI 利活用人材の育成～」のご説明があり、さら最新パンフレット「カメラと個人情報保護法」については個人情報保護委員会事務局 参事官補佐 木村 一輝様より解説いただきました。

工業会 JEAS 認定「推薦製品」No.004 認定証授与式

Casley Deep Innovations 株式会社
キャスレーディープイノベーションズ

ASCA/不審者検知 with SAFR

アジェンダー

演題：緊急セミナー「AIカメラ等利活用に向けての人材育成と“カメラと個人情報保護法”パンフ活用」
日時：2023年12月20日（水）14:00～16:00
会場：東京都新宿区四谷 YOTSUYA TOWER 7F 高千穂交通（株）セミナールーム及びTeams ウェビナー

アジェンダー：
・来賓挨拶「次世代の情報処理基盤の構築に向けて～ AI 利活用人材の育成～」
経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課（IT イノベーション課） 総括係長 森野智子様
・最新パンフレット「カメラと個人情報保護法」の解説（40分）
個人情報保護委員会 事務局 参事官補佐 木村一輝様
・JEAS と各社の安全管理事例（20分）※開示対応と廃棄・転売時の処置事例など
JEAS の安全管理事例
会長・個人情報管理室長 稲本義範
サマルカメラ等の安全管理措置 Dahua Technology Japan SI 事業部部長 周 蔚麟（しゅう せつほう）氏、マーケティングマネージャー 馬（ま） ブンイ氏
・AIカメラと顔認証カメラ関係者のパネルディスカッション（45分）
題材「EU、世界初の包括的AI規制で大筋合意 日本など外国企業にも影響」報道に関して
セキュリティ産業新聞 野口勇人編集長（当工業会主席アドバイザー）
アクシスコミュニケーションズ株式会社 シニアアカウントマネージャー（リテール） 森川真次氏（当工業会監事）
リアルネットワークス株式会社 アジア太平洋地区副社長 高村徳明氏（当工業会理事・カメラ画像安全利用推進委員会副委員長）

工業会 JEAS 認定「推薦製品」とは <https://www.jeas.gr.jp/pdf/20230202-2.pdf>

セミナーの様子

セミナーの様子

資料格納先 <https://www.jeas.gr.jp/20231220.zip> (PW は jeas)

15分勉強会

- ☆7月14日（金）は（株）サイエンスアーツの松田氏と松井氏を講師に同社製品「Buddycomーバディコムー」を学びました。
- ☆9月8日（金）（株）アジラの平野様より商業施設や大学や自治体施設で使われている動作検知について学びました。
- ☆12月8日（金）「企業の機密情報管理を web3.0のインフラで支える分散型ハイパーセキュアストレージ」を Casley Deep Innovations（株）代表取締役社長 砂川和雅氏に説明していただきました。資料は会員ページの d_37にあります。
- ☆2月9日（金）『聞いて得する「防犯カメラ（AI カメラ含む）設置工事」の方法とは』講師は日本アクア開発（株） 豊島社長が担当されました。

学び AI や IoT 等への自己研鑽 ～ AI 時代への学び事例 ～

【検定名】

▶ IoT システム技術検定 [基礎]

タカヤ株式会社 田丸 典億

https://www.mcpc-jp.org/iotkentei/kentei_msg_kiso/

・受験しようと思った理由 当工業会の特別会員でもあるソフトウェア協会より、メールマガジンにて本検定のご案内があり、実業務でも IoT 関連の知識が必要であることもあり、受験を申し込みました。

・かかる費用 受験料：11,000円（税込）（アカデミーであれば、8,800円）、テキスト：2,750円（税込）
<https://book.impress.co.jp/books/1122101058>

・苦勞した点

CBT 方式の問題文が、少し引っ掛けとなっており、間違い探しのような苦勞があった。こんなところに活かしていきたい。IoT 関連の業務をしていることもあり、さまざまな言葉の定義など、改めて再確認できた。

今後、パートナー会社との打ち合わせなどにおいて、共通の言語で会話できるようになると期待している。

・お勧めの職種（こんな方に受験いただきたい）

IoT デバイスの開発、設計などされている業界の方で、実際に開発しているわけではないが、営業などの業務に携わっている方などにおすすめです。検定期間は、2024年3月25日までですので、みなさんもチャレンジしてみてください。

▶ ロス対策士検定と科学保安講習会

株式会社店舗プランニング 小嶋 賢一

・受験しようと思った理由

前部署では営業職をしており JEAS 工業会からの情報がとても役にたった経験から、ロス対策士も自身の知見を深める良い機会と捉え受験させていただきました。

・かかる費用

ロス対策士通信から得られる情報からするとマッチした費用と思います。むしろ安いかも…。

・苦勞した点

通常の社内業務をこなしつつ、ロス対策士の勉強でしたので時間を作るのに多少苦勞しました。

初めて聞く言葉や、自身の経験から縁の遠い計算問題もあり、理解するまで歳のせいもありこちらも苦勞致しました。（なかなか頭に入らない…）

・こんなところに活かしていきたい。

現在、私は社内において JEAS 工業会の広報活動を行っております。社内関連部署にメッセージャーとして届けており、年々、認知度も上がっていると思われます。社内関連部署の方が自身の知見を広め、個々の活動に役立てていただく事並びに JEAS 工業会の発展に寄与したいと思っております。

・お勧めの職種（こんな方に受験いただきたい）

経験上、営業職だと思います。ロス対策士通信から得られる情報をお客様への足掛かりとして、コミュニケーション作りや、一歩踏み込んだ商品の紹介。科学保安も最先端画像技術が学べるので楽しかったです。

▶ G 検定合格者

高千穂交易株式会社 平尾 潤

私は営業職として防犯システムの販売に携わっています。以前から人工知能や機械学習に関心があったので24年1月にG検定を受験しました。

学習はe-Learningを中心に約3か月間行いました。G検定は受験範囲が広くテーマが多岐にわたるため、わからない箇所がでてきたときは都度webで調べ、あとから確認できるよう内容をまとめておきました。試験当日は体調管理をしっかりとこない、集中力を切らさないように心がけました。結果は合格することができたので、とても嬉しかったです。

個人的な関心からG検定の勉強を始めたのですが、試験を終えて、ここで得た知識は仕事にも活かせるのではないかと感じています。たとえば顔識別機能付きカメラシステムの中にはディープラーニングの手法が用いられているものがあります。営業職をしていると製品について問合せを受けることが多いのですが、知識を得たことで、これまでよりも正確でわかりやすい回答ができるような気がしています。またG検定では法律や倫理に関する問題も多く出題されます。これらの知識も防犯システムを長く安心して使用していただくためには大切だと感じています。

G検定で学んだことを忘れないよう、これからもこの分野への関心を持ち続けていきたいです。

セキュリティショー2024 JEAS セミナーとブース

日経セキュリティショー2024 JEAS セミナー「ロス対策&販促アップ! ディスカウント店やドラッグストアの凄技」の申込みが開始されました。3月14日(木) 15:30~16:30 ビッグサイト東8ホール内ステージです。申込は先着100名様です。登壇者は(株)パン・パシフィックシェアードサービス総務本部危機管理部長 後藤信明様、(株)ロケット代表取締役社長 林潤一氏、司会は当工業会の保安業務技術長である(株)JSS執行役員東京統括部長 林俊一氏が務めます。会場ブース(東8ホールはSS8006)では各社の製品・サービスの紹介をしており、説明員が皆様のご来場をお待ちしております。



ロス対策士情報と JEAS 報奨制度について ~各分野で活躍するロス対策士~

副会長 近江 元

全国万引犯罪防止機構のロス対策士検定試験制度は、万引犯罪、内部不正、業務上のエラーなどを含む不明ロスについての実務的な知識を身に着けることを目的としたものです。

今までに小売業、JEAS 会員など多数の方々がロス対策士の資格者となり、各分野でロス対策に取り組んでいます。

さて、JEAS では、ロス対策士検定試験の受験を促進するために JEAS 会員企業に所属する資格試験合格者の方々への褒賞制度(図書カード進呈)を設けております。

是非とも一人でも多くの方々がこの資格を得て、主要な顧客である小売業、特にチェーンストア企業に対して、ソリューションとしてのサービス提供につなげていただきたいと思います。

◆ JEAS 企業に所属する資格試験合格者への褒賞制度

<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20220810.pdf>

◆ ロス対策士検定試験は万引犯罪防止機構のホームページをご覧ください。

<https://www.manboukikou.jp/exam-about/>

☆新たな知識と情報と共有に向けたフェイスブックにてロス対策士のための専用コミュニティが好評です!フェイスブック上で「ロス対策士コミュニティ」と検索ください。

ロス対策士コミュニティ



工業会 日本万引防止システム協会のご案内

工業会 日本万引防止システム協会は、EAS 機器等の万引防止システムを製造・販売する企業の業界団体であり、流通業界の健全な経営、また青少年の非行防止という産業的・社会的役割を果たすべく、行政機関、関連業界団体とともに連携をとり活動しています。

■目的

本会は、万引防止システムの産業的、社会的な役割を果たすために、万引防止システムの円滑な普及・発展に資する制度・政策・計画等の建議と実行、行政機関・関連業界団体あるいは生活者等の間での認識向上、相互の間の調整、万引防止システムに関する内外の情報収集と提供を行い、業界の健全な発展と安全で豊かな国民生活に寄与することを目的とする。

■会員の種別

(1) 正会員

本会の目的に賛同して入会した次の企業および団体とする

●万引防止システム製造ないし販売している企業および団体

●今後、万引防止システムを販売ないし提供しようとする企業および団体

●万引防止に関連するサービスを提供する業界（警備業等）や関連業界（防犯カメラ設備等）に属する企業など

●万引防止システムを販売ないし提供する企業に対し商品や部品の供給事業を行う企業および団体

(2) 賛助会員

本会の事業を賛助するために入会した次の企業および団体とする

●小売業に商品供給しているメーカーおよび物流企業

●小売業にサービスを提供している企業および団体

(3) 特別会員

本会の目的に賛同し、協力をする団体会員

■会費（2019年6月6日改訂）

	年間売上金額	年間会費 万円
正会員 ①	40億円以上	33
②	20億円以上、40億円未満	28
③	10億円以上、20億円未満	22
④	5億円以上、10億円未満	17
⑤	3億円以上、5億円未満	13
⑥	1億円以上、3億円未満	11
⑦	1億円未満	9
賛助会員		4
特別会員		無料

基本は内部不正対策などを含むロス対策に関わるシステム販売の年間国内売上に応じた年間会費とする。

■入会条件、入会申し込みはこちらのサイトをご確認ください。

<http://www.jeas.gr.jp/intro06.html>

新規入会企業および団体を募っています。

◎万引防止システムを製造ないし販売している企業の皆様

◎万引防止対策を担当している警備業や防犯カメラ設備に属する企業の皆様



編集後記・事務局だより

昨年の編集後記では、大谷選手の104年ぶり、という話題を記載しましたが、大谷選手は WBC での大活躍以降、メジャーリーグでも目覚ましい活躍をみせ、日本人初の HR 王や、2 度目の満票 MVP 獲得、ドジャースへの大型移籍契約など、色々と話題に事欠かない年でもありました。

当工業会においても、新たなチャレンジの一つとして、業界に長らく貢献し、後進の模範となられている方々を「職業専門委員」に認定する制度を令和6年度通常総会にて発出します。

JEAS は今までの常識にとらわれることなく、常に、会員企業、ユーザー様の安心・安全のための活動ができればと祈念します。

理事・事務局長 田丸典億



令和5年度 工業会 日本万引防止システム協会 役職一覧

No.	工業会役職	社名・団体名	役職名	氏名
1	会長	高千穂交易（株）	事業開発室上席コンサルタント	稲本義範
2	副会長	（株） 三宅	代表取締役社長	三宅正光
3	副会長	NPO 法人 全国万引犯罪防止機構	理事 LP 教育制度作成委員長	近江 元
4	副会長	セフト HD（株）	代表取締役社長	山根久和
5	理事 （政策・研究委員会）	IDEC ファクトリーソリューションズ（株）	セールスマーケティング本部 EAS 営業部 部長	谷 義彦
6	理事 （政策・研究委員会）	（株） キャトルプラン	代表取締役社長	佐藤圭三
7	理事 （政策・研究委員会）	（株） セキュリティデザイン	営業副本部長	那谷幸平
8	理事 （政策・研究委員会）	（株） 店舗プランニング	代表取締役	飛永泰男
9	理事 （政策・研究委員会）	日本電気（株）	スマートリテール統括部 映像アナリティクスグループ	摺田祐司
10	理事 （政策・研究委員会）	ビブリオテカ・ジャパン（株）	営業部部長	松崎泰二
11	理事 （総務委員会）	マイティキューブ（株）	代表取締役社長	本川勝広
12	理事 （総務委員会）	（株） エイジス	新規事業推進室長	米山英志
13	理事 （総務委員会）	N E C ソリューションイノベータ（株）	九州支社 第二グループ KAOATO グループ 主任	上野順子
14	理事 （事務局長、技術基準委員会）	タカヤ（株）	事業開発本部 R F 事業部 営業部 S S 担当マネージャー	田丸典億
15	理事 （カメラ画像安全利用推進委員会）	グローリー（株）	リテールソリューション 販売支援部	山本健二
16	理事 （カメラ画像安全利用 推進委員会）	リアルネットワークス（株）	アジア太平洋地区副社長	高 村 徳 明 （新任）
17	理事 （カメラ画像安全利用 推進委員会）	（株） G e o V i s i o n	副社長	周 采 穎 （新任）※ Joy Chou
18	理事 （個人情報管理室）	（株） ゴジョウ・ウェイズ	代表取締役社長	佐藤賢二
	監事	Matsuo Sangyo（株）	執行役員統括部長	森 雅裕
	監事	アクシスコミュニケーションズ（株）	シニアアカウントマネージャー （リテール）	森川真次

敬称略・順不同

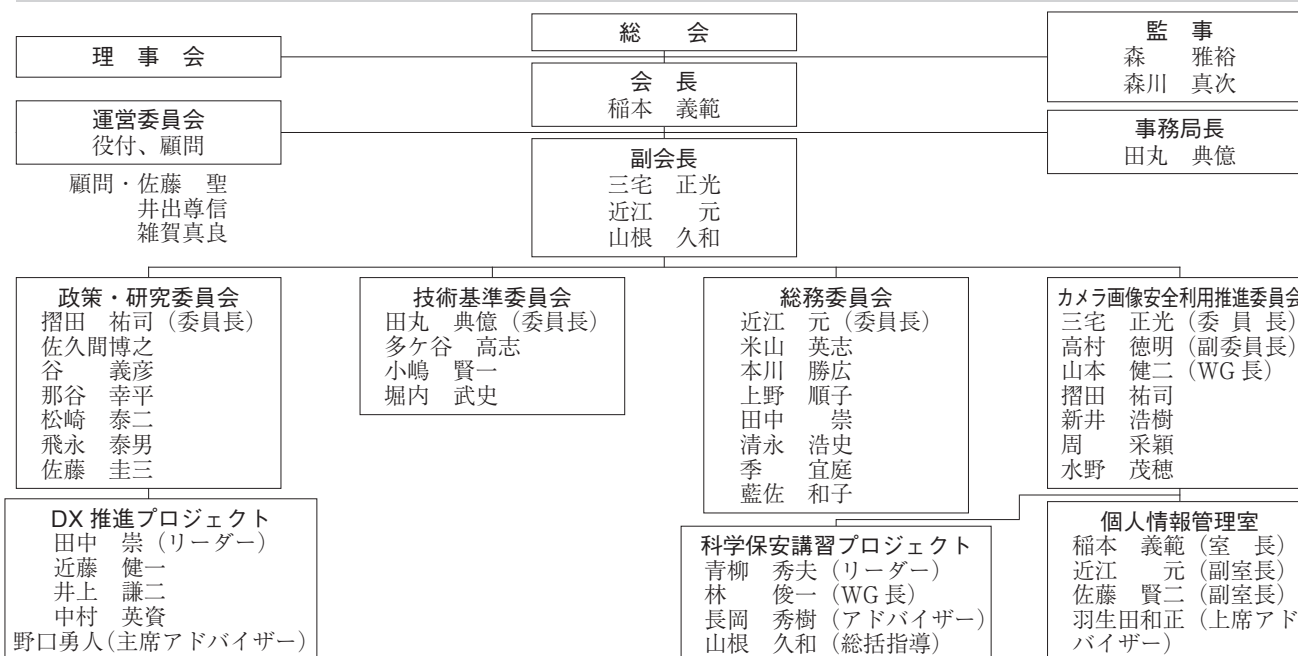
顧問 佐藤 聖 元（一財）元流通システム開発センター 調査部長

井出尊信 高千穂交易（株）代表取締役社長

雑賀真良 元（株）オカムラ商環境事業本部 セールスサポート部（新任）

※周様は令和6年6月7日の通常総会で正式に理事となられます。

令和5年度 工業会 日本万引防止システム協会 組織図



つながる心が生む新世界～協働防犯～

～ 防犯民主主義実現に向けて ～

EAS機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会

工業会 日本万引防止システム協会

正会員

(正会員数 43社)

アイランドティテック(株)
IDECファクトリーソリューションズ(株)
AWL(株)
アクセスコミュニケーションズ(株)
アースアイズ(株)
(株)アジラ
アドセック(株)
(株)エイジス
NECソリューションイノベータ(株)
エム・ケー・パビック(株)
(株)オカムラ
(株)Casley Deep Innovations
(株)キャトルプラン
(株)杏林社
Dahua Technology Japan(有)
グローリー(株)
(株)ゴジョウ・ウェイズ
(株)KSM
(株)サイエンスアーツ
サクサ(株)
三和コンピュータ(株)
(株)JSS

(株)セキュリティデザイン
CIA(株)
(株)GeoVision
シグマ(株)
セコム(株)
セフトHD(株)
高千穂交易(株)
タカヤ(株)
チェックポイントジャパン(株)
(株)店舗プランニング
日本アクア開発(株)
日本NCR(株)
日本電気(株)
ネクストウェア(株)
パナソニック コネクト(株)
富士通フロンテック(株)
ビブリオテカ・ジャパン(株)
マイティキューブ(株)
Matsuo Sangyoグループ(株)
(株)三宅
リアルネットワークス(株)

賛助会員

(株)アスラボ
亜細亜印刷(株)
(株)自己啓発協会
(株)セキュアリンク
三愛化成商事(株)
チェスコムアドバンス(株)
(株)NICCOサポート
(株)日本保安
(株)UACJ
(株)ロケット

特別会員

一般社団法人 ソフトウェア協会
公益社団法人 日本防犯設備協会
一般社団法人 日本自動認識システム協会
一般社団法人 全国警備業協会
NPO法人 全国万引犯罪防止機構
関西万引対策連合会
一般社団法人 リテールAI研究会
タグ&バック事務局
一般社団法人 ロスプリベンション協会

お陰さまで全会員数が62組織になりました。

(2023年12月9日現在)

JEAS委員会組織

カメラ画像安全利用推進委員会

委員長・副会長 三宅 正光



推奨顔認証システム
ステッカー

小売業や物流現場のカメラ画像の効果的な利用状況やセキュリティ対策を調べ、システム提供者側の販売指針を発表することで、カメラ画像の適切な利用促進に向けての環境整備を行う。平成28年度に「防犯カメラや画像認識システムの安全利用のお勧め」を制作。令和2年に推奨顔認証システム制度をスタートさせた。

技術基準委員会

委員長・事務局長 田丸 典億



平成20年10月、EASと医療機器との干渉試験を実施することになり、その方法等の内容を検討し実施するために、技術基準委員会が設置された。

- ①対ペースメーカー等との干渉実験
- ②電磁界測定 ③電気用品安全法対応
- ④各種の基準作り

政策・研究委員会

委員長・理事 摺田 祐司



JEASとして、取り上げるべき問題・課題の検討を行い、その結果を委員会の責任において、行政機関・関連団体・報道機関等に対し建議および提言・アピールを行う。

調査研究事業として、わが国における万引防止システムの普及推進のための必要な調査研究及び会員の基礎教育を行う。

総務委員会

委員長・副会長 近江 元



工業会全般のスタッフ業務と工業会を司る。事務局と密接な関係を保ちながら主として次の業務を行う。会計、広報、渉外、規約の起案と見直し、他の委員会に所属しない業務を専門的に行う。国内情報・海外情報を広く収集し、必要に応じてそれらを取りまとめ、国の内外へ広報する。「15分間勉強会」や「業界で活躍する女性」が好評につきシリーズ化した。

理事会・運営委員会

会長・個人情報管理室長 稲本 義範 (総合防犯設備士、公認不正検査士、万引き防止責任者養成講座担当講師)

速報!

イベント情報

詳しくはJEASの
Homepage & Facebookにて

- 3/14(木) SECURITY SHOW2024 JEASステージ
「ロス対策&販促アップ! ディスカウント店やドラッグストスの凄技」
- 6/7(金) JEAS通常総会・記念講演会「塀の中のおばさん」「私だってできるロス分析方法」

JEASフェイスブック
ロス対策メルマガ
好評配信中!

工業会 日本万引防止システム協会会報第40号

□発行日: 2024年2月16日 □発行人: 稲本義範
□発行: 工業会 日本万引防止システム協会 事務局
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-1 YOTSUYA TOWER 7階
TEL: 03-3355-2322 FAX: 03-3355-2344
ホームページ <https://www.jeas.gr.jp/>
フェイスブック <https://www.facebook.com/JEAS.JAPAN/>
メルマガ <https://www.jeas.gr.jp/mail.html>
法人番号: 9700150096387

ご相談窓口について

工業会 日本万引防止システム協会では、万引防止システム全般に関するご相談の窓口を開設しております。ご相談窓口では、皆様からのEAS機器等の万引防止システムに関するご質問、ご相談、苦情などをお受けしております。ご連絡先は、左記の工業会 日本万引防止システム協会事務局宛となります。